

あひるぐみだより

2021年度 3月号



社会福祉法人尚徳福社会 生麦保育園

まだまだ寒い日が続きますが、寒い中にも少しずつ春の訪れを感じられるようになってきました。早いものであひる組で過ごすのもあと1ヵ月となり、来月からはりす組さんへとまた一つ進級します。あひる組で過ごす残りの時間を大切にしながら、楽しく安全に過ごせるようにしていきたいと思います。

ひなまつり制作

ひなまつりの制作を行い、顔を描いたり着物の飾り付けをしたりしました。顔はクレヨンで思い思いの顔を描き、着物の飾りは和柄の折り紙を切ったものをのり付けしました。顔を描いている様子を見ると、力強くしっかりと描けるようになったように思います。のりの感触を嫌がる様子もほとんどなく保育者の説明を聞いて楽しんで行い、可愛らしいお雛様とお内裏様ができました。



おさんぽ大好き！

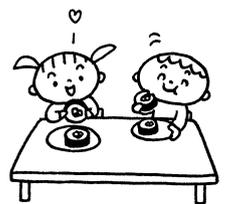
去年の年末からバギーを使わずに保育者やお友だちと手を繋いで散歩に出掛けるようになり、今ではしっかりと足取りで上手に歩けるようになりました。4月当初を思い返すと、低月齢の子はまだハイハイをしている姿が見られていたので、とても成長を感じます。距離も近場のパンダ公園から歩き始め、今では河川敷の方まで距離を伸ばして歩いています。高月齢の子は、「救急車の音がするね。」「ちゅんちゅんだあ！」などと楽しそうにやり取りをしながら歩く姿も見られます。残りの時間も積極的に散歩に出掛け、春の訪れを感じながら楽しんでいきたいと思えます。

こんなに大きくなりました！

4月から約1年、子ども達は身体的・情緒的に大きな成長を見せてくれました。靴下や靴・ズボンの着脱は受け身で甘えている姿が多かったですが、今では自分で取り組み保育者に褒められて誇らしげな顔をしています。自分の気持ちも少しずつ伝えられるようになり、「○○ちゃんの！」「やめてー！」と言い怪我に繋がるようなトラブルが少なくなりました。高月齢の子は会話もできるようになり、保育者や友だちとやり取りを楽しみ時々思わず笑ってしまうような会話も聞こえます。食事は手掴み食べをしている子が多かったのですが、今ではフォークを上手に使って食べ進め、食べこぼしも少なくなりました。このような子ども達の様々な成長を約1年間見守ることができたこと、とても嬉しく思います。りす組ではどんな成長を見せてくれるでしょうか？進級が楽しみです。

なかよし会

2月15日(火)に幼児さんのなかよし会(お店屋さんごっこ)に参加をしました。お兄さんお姉さんの「いらっしゃいませー！」の声や上手にできた食べ物に興味津々の子ども達。輪投げやワニの口にボールを投げ入れるゲームをすることもでき、楽しそうに参加していました。特に輪投げは人気で一生懸命に輪っかを投げている姿が見られました。カードにスタンプを押してもらって、お買い物気分も味わい大喜びです。部屋に戻った後は、さっそくもらった食べ物を袋から出して嬉しそうにままごと遊びをしていました。



※進級に向け、着脱を自分で取り組み汚れ物も自分で入れています。

注意して見ていますが、ズボンが後ろ前だったり汚れ物の入れ間違いがあったりすることもあると思いますので、ご理解ご協力お願い致します。

1年間たくさんのご協力
ありがとうございました！

